

## 気仙スギ丸太の強度

### 1 研究のねらい

岩手県沿岸南部の気仙地域において、スギは主要な造林樹種であり、「気仙スギ」としてブランド化が推進されている。この地域は生育条件が良好であり、その蓄積量も増加しつつある。

今回、建築用材としての利用適性について調査した。

### 2 試験方法

供試材は、気仙管内4市町のスギ4林分からそれぞれ立木を20～25本選定し、採材長は4mで1～4番玉まで採材することを基本とした。

所定の寸法に玉切りした丸太の形質調査を行い、動的ヤング係数を測定した。

### 3 結果

供試丸太の動的ヤング係数は1番玉の値に比べ2、3番玉の値が高かった。(図-1)

また、末口径が大きくなるにつれ動的ヤング係数が低下する傾向が認められた。(図-2)

これは末口径の太い丸太には動的ヤング係数の低い1番玉の丸太が多く含まれているためであり、強度面からの用途区分が必要な場合に、径級毎の仕分けによりある程度の対応が可能であると考えられた。

### 4 今後の進め方

気仙地域産スギ丸太から製材された製材品について、その特徴と強度性能等についてのデータを解析し、「気仙スギ」としての材料性能を明らかにしてゆく予定である。



供試スギ丸太



動的ヤング係数の測定

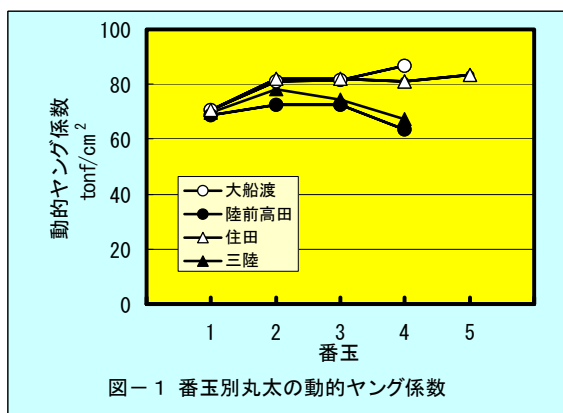


図-1 番玉別丸太の動的ヤング係数

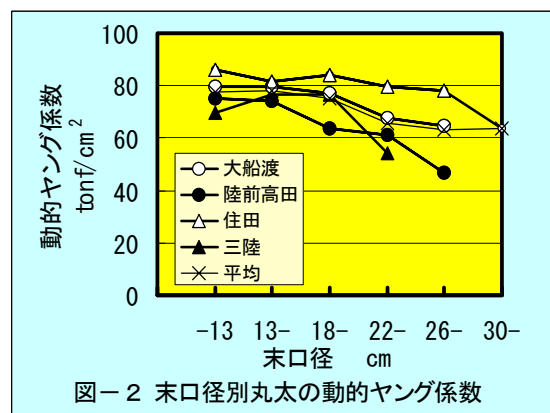


図-2 末口径別丸太の動的ヤング係数

(担当 木材部 上席専門研究員 東野 正)

連絡先

028-3623 岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第三地割字清水 560-11  
岩手県林業技術センター  
ホームページアドレス

TEL 019-697-1536

FAX 019-697-1410

<http://www.pref.iwate.jp/~hp1017/>